未来を耕すアグライフ！

新規就農者
スタートアップ支援事業

令和6年10月25日

香美市建設課　　坂田　康孝

目　次

１．　現状

２．　政策提言

３．　ビジョン

1．現状①

- 新規就農者（新しく農業に就こうとする方）に注目した理由

  ①農林課で農業を推進する部署に在籍していた経験
  ②香美市まち・ひと・しごと創生総合戦略の基本目標に位置付け

- 現在、香美市は新規就農希望者に対する政策（国の政策や就農相談等）に取り組んでいる

→ **十分な結果に結びついていない**

1．現状②

香美市基幹的農業従事者（15歳以上の世帯員のうち、普段仕事として主に自営農業に従事している者）の推移　（出典：農林業センサス）

- 2010年　　1,833名
- 2015年　　1,485名
- 2020年　　**1,289**名

10年間で

約**30**%減となっている

このまま減少が続いていくと…

2030年以降の農林業センサスでは**1,000名を下回る可能性**

【参考】全国規模の基幹的農業従事者

2010年　205万人　　⇒　　2020年　**136万人（約70万人減少）**

1．現状③

各種国等の補助金を受けるための要件（一部）

- 年齢制限（49歳以下）であること
- 本業として新規就農することが主であること
- 世帯所得が一定の基準を超えないこと　　等

比較的若年層　＋　思い切ったエントリーが必要

見送った方の声

この要件じゃ、**年齢を重ねた希望者**は
農業をやりたくてもやれないなぁ、、、

1．現状④

- 令和5年度における総合戦略の新規就農者

目標7名に対して…

わずか**3**名（達成率は約**42**%）

国が要件として課す新規就農者とは違うが、**香美市独自の農業を始めてみたい方への支援が必要な時期**だと考えられる

目　次

１．　現状

２．　政策提言

３．　ビジョン

未来を耕すアグライフ！
新規就農者スタートアップ支援事業

事業の位置づけ

Step 1
- 情報収集（国等の補助金）
- 就農相談（年齢、所得等クリア）

Step 2
- 営農活動
- 地域の方々との関係構築　　等

Step 3
- 販路確保及び拡大
- 経営規模拡大　　等

ここの要件（ハードル）を
下げます！

事業のアウトライン

1 支援要件

2 支援内容

3 周知徹底

2. 政策提言①　支援要件

- 香美市に居住し営農する意志がある（個人・法人不問）
- 申請時に就農計画を作成し、それに沿って営農できる
- 販売を目的として営農する
- 農地がない又は不足の場合、農地あっせんを受けることや利用権設定等を 行うことができる
- 市税の滞納がない方　　等

年齢や世帯所得の要件なし

“農業を始めたい”気持ちを後押し

2. 政策提言②　支援内容

- 補助額 40万円／回（補助対象経費の１／２、一回限り）

①予算の範囲内で補助
②年度末までに資材の購入伝票や写真等を
　実績報告書に添付して提出すること　　等

- 補助対象経費は以下のとおり

①肥料等の農業用資材の購入に要する費用
②農業用機械及び農業用器具の購入並びに使用に要する
　費用　等

2. 政策提言③　周知徹底

- 広報誌「広報香美」に掲載や庁内関係部署にチラシ設置
- JA等の就農相談時の案内
- 就農関係、移住推進イベント時
- オンデマンドでオンライン相談会（Zoom等）
- SNS（Facebook、香美市公式LINE、インスタグラマー*、Youtuber*等）による拡散

*香美市にゆかりのある方と協力を検討

目　次

１．　現状

２．　政策提言

３．　ビジョン

3. ビジョン①（目標数字と事業費）

▶ 目標数字（KPI）

短期目標（令和7～令和9年度）	中・長期目標（令和10年度～）
相談者数　20名／年度 就農[受給]者数　10名／年度 （相談者の5割）	相談者数　50名／年度 就農[受給]者数　40名／年度 （相談者の8割）

▶ 事業費

短期目標（令和7～令和9年度）	中・長期目標（令和10年度～）
年間　400万円（40万円×10名） （3年間：1,200万円、30名就農[受給]）	年間　1，600万円 （40万円×40名就農[受給]）

（参考）愛知県犬山市の補助金制度（インタビュー実施）

犬山市新規就農者支援補助金

- 必要な資材等初期費用を支援
- 自ら生産し農作物を販売する計画がある
- 販売を目的とし耕作開始後5年以内　他
- 対象経費の2分の1の額（上限30万円）

年齢・所得等を要件に課さない

担当者の想い

- 個人・法人を問わず新規就農者を増やしたい！
- 国の要件（ハードル）が高いので裾野を広げたい！

新規就農者増加は喫緊の課題

実　績

非常に高いニーズ！　　**9割に迫る勢い！**

令和3～5年度相談者数	15名（うち法人2）	令和5年度相談者数	9名
令和3～5年度受給者数	13名（うち法人2）	令和5年度受給者数	8名
令和3～5年度受給率	約87％	令和5年度受給率	約89％

3. ビジョン②（Step2・3の政策）

Step 1
- 情報収集（国等の補助金）
- 就農相談（年齢、所得等クリア）

Step 2
- 営農活動
- 地域の方々との関係構築　　等

Step 3
- 販路確保及び拡大
- 経営規模拡大　　等

他の国・県・市等の補助事業を精査し香美市独自の政策を打つことが必要ですが、今回はStep1に絞って提案させていただきました。

3. ビジョン③（本政策［Step1］の今後の展望）

Stage 1　認知期

「『林業』以外に農業もに力を入れている香美市」として農業を希望する人々に認知される！

令和7年～

Stage 2　過渡期

新規就農希望者に対して県下で最も優しい自治体として認知され、農業者減少からV字回復の兆しが見える！

令和10年～

Stage 3　拡大期

新規就農者が増え活気あふれる香美市になり、農業者減少に歯止めがかかる！移住者や交流人口増加へ波及する！

令和13年～

ご清聴ありがとうございました

参考資料編

参考資料①香美市基幹的農業従事者年齢区分（男女合算）

香美市基幹的農業従事者（15歳以上の世帯員のうち、普段仕事として主に自営農業に従事している者）の推移（出典：農林業センサス）

（単位：人）

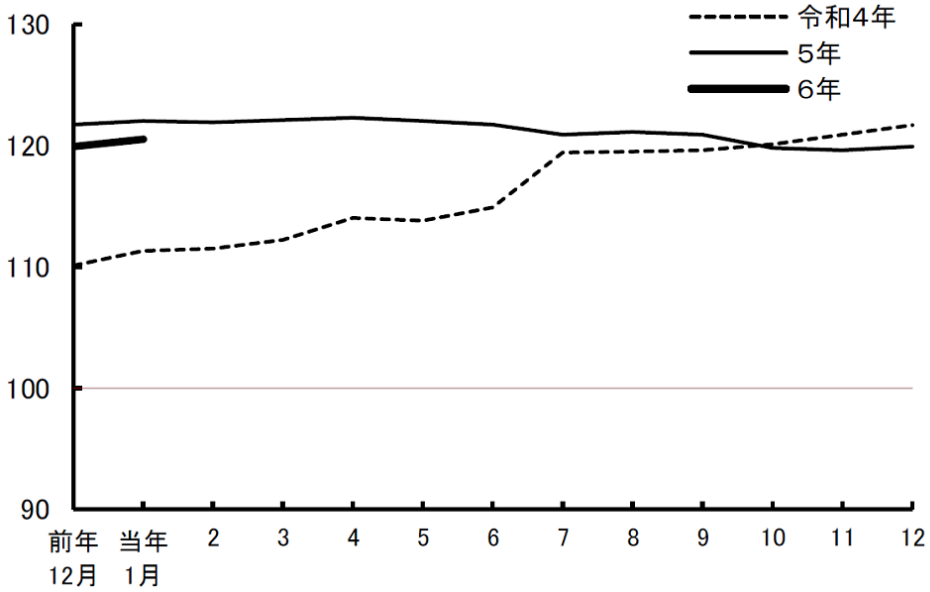
農林業センサス	15～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～64歳	65歳以上	合計
2010年	35	65	122	266	251	1094	1,833
2015年	19	59	90	189	166	962	1,485
2020年	13	63	91	128	136	862	1,293
2010年と2020年の差	−22	−2	−31	−138	−115	−232	−540

- 2010年　1,833名
- 2020年　1,293名

10年間で約**30**%減となっている

参考資料②農業生産資材の月別価格指数

農業生産資材の月別価格指数（令和2年＝100）

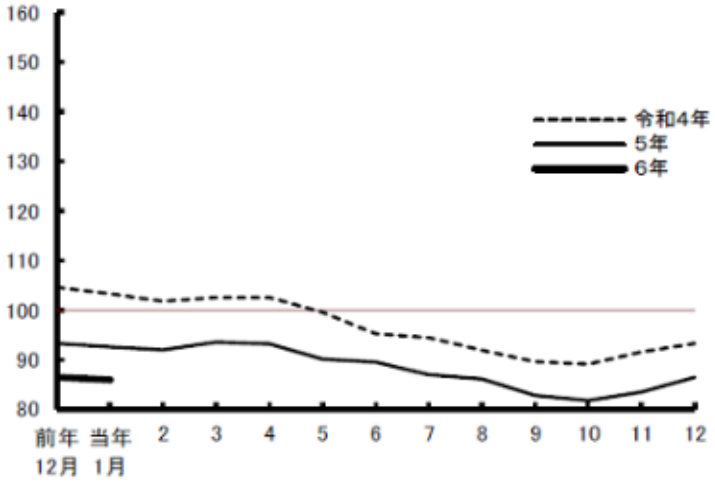


令和2年を100%とした農業者が小売店等で購入する資材価格に関する指数であり、令和5年の総合価格指数は120.5%であった（出典：農林水産省）

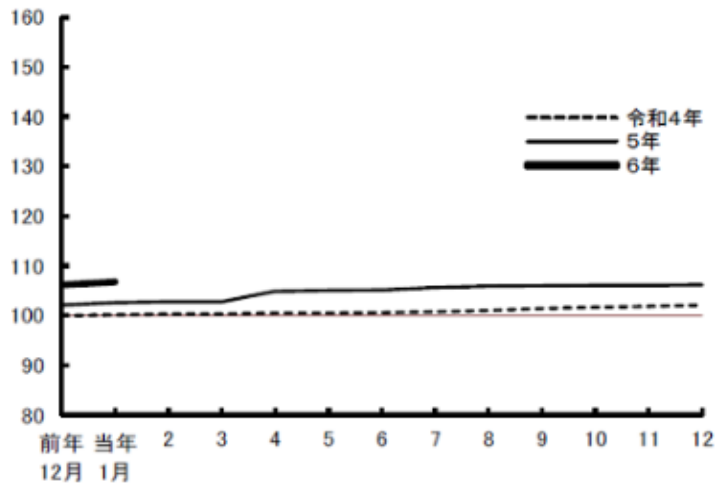
ここ数年間は**高どまり**

農業者負担は**大きい**

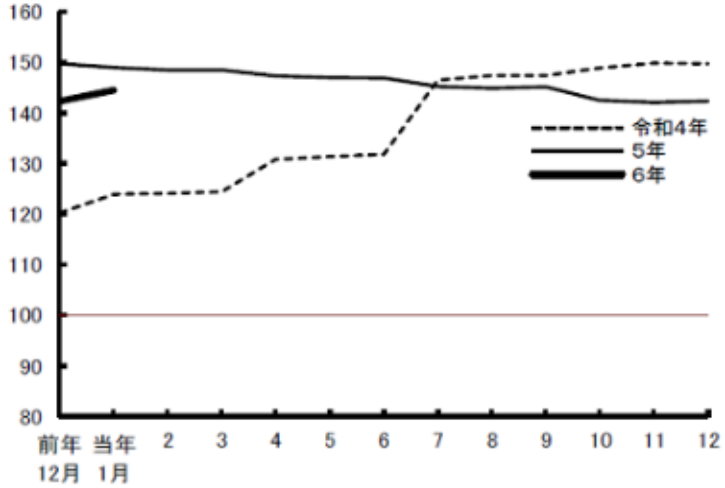
畜産用動物



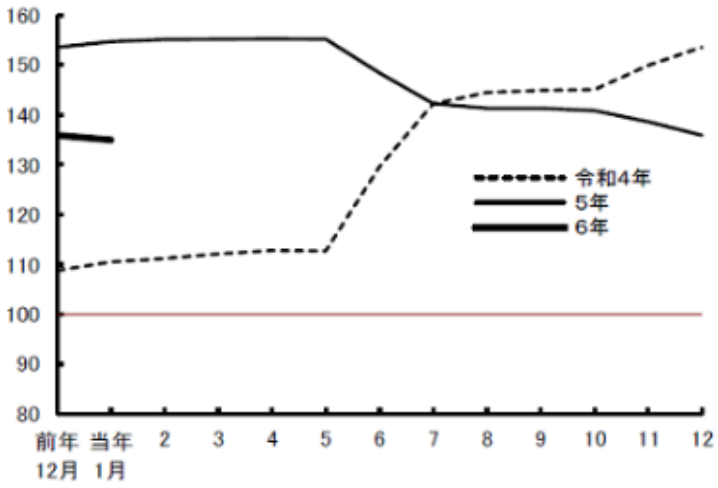
農機具



飼料



肥料

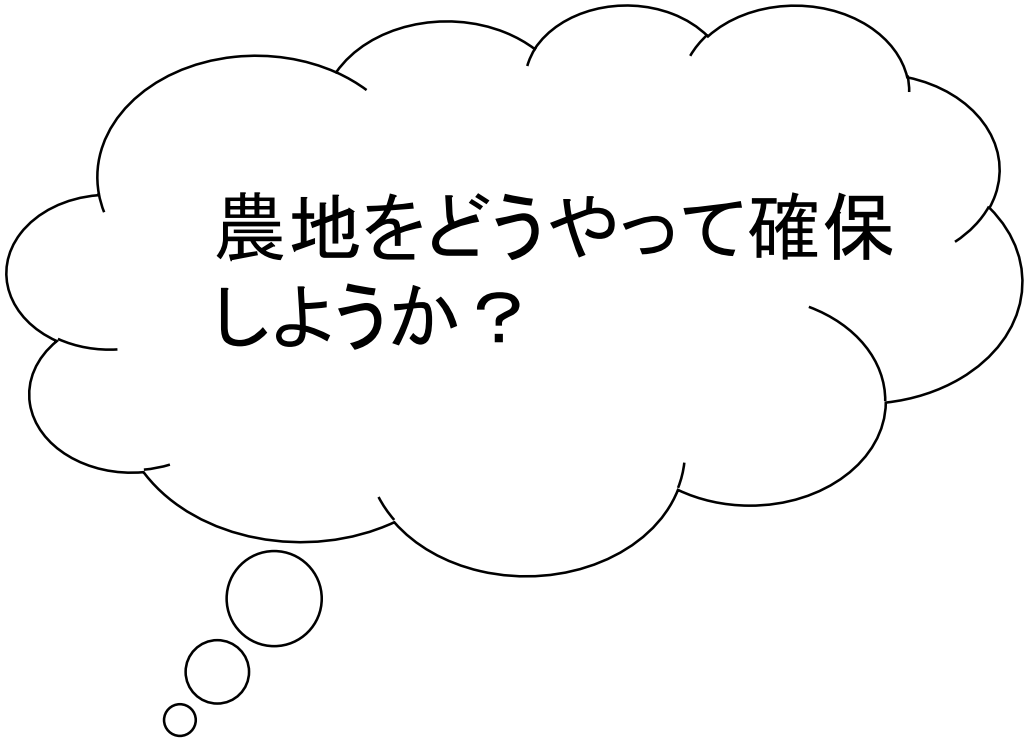


参考資料③事業費積算等

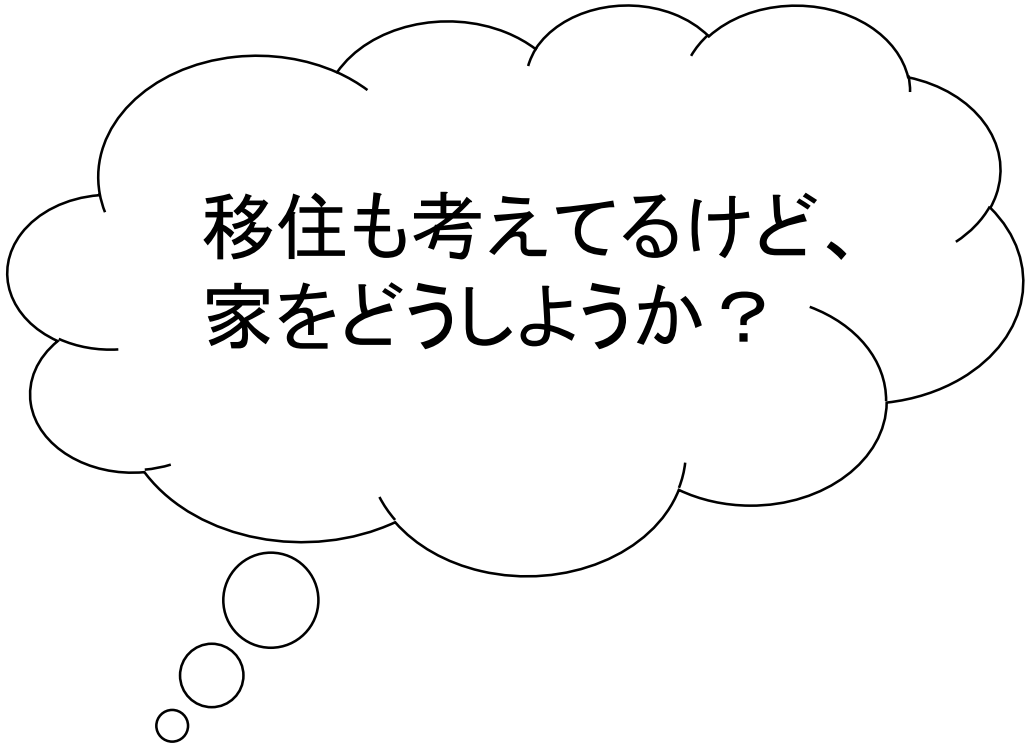
①基準データ	「農家Web補助金データベース」に存する、独自の新規就農者支援を行っている自治体のうち、本政策に類似の事業を展開している下記自治体を参考にする。
②①の自治体平均 （令和6年8月末人口）	愛知県犬山市　30万円 新潟県柏崎市　30万円
③令和5年総合価格 価格指数	120．5%（令和2年＝100とした場合）
④補助額	40万円（②×③、切上げ）

参考資料④資金面以外の営農活動の不安要素

資金面以外の営農活動の不安要素…



農業委員会事務局からバックアップ（あっせん）してもらいます



定住推進課から空き家や利用できる住居の情報を提供してもらいます

参考資料⑤犬山市基幹的農業従事者年齢区分（男女合算）

犬山市基幹的農業従事者（15歳以上の世帯員のうち、普段仕事として主に自営農業に従事している者）の推移（出典：農林業センサス）

（単位：人）

農林業センサス	15～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～64歳	65歳以上	合計
2010年	4	6	11	33	84	567	705
2015年	3	7	9	25	53	459	556
2020年	1	7	6	8	20	313	355
2010年と2020年の差	−3	+1	−5	−25	−64	−254	−350

- 2010年　705名
- 2020年　355名

10年間で約50%減となっている